

松江市立天文台～5月の天文教室～

平成30年5月23日

～5月下旬午後9時頃の星空



暗くなりはじめた西の空に見える明るい星が金星、東の空に見える明るい星が木星です。木星は、望遠鏡で表面のしま模様や、ガリレオが発見した4つの衛星を観察できます。星座は、おおぐま座の北斗七星、うしかい座、しし座、おとめ座などが空高く見えています。

5月下旬午後9時頃の星空です。
月、金星、木星、の位置は5月23日現在のものです。
各天体の見かけの大きさは強調してあります。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢 8
月の欠け際は、太陽の光が横から当たるため、地形の光と影のコントラストが美しく、小型望遠鏡でも楽しめます。



金星



金星は地球の内側を回る惑星です。厚い雲におおわれているので表面の様子は見えませんが、月のような満ち欠けを観察することができます。

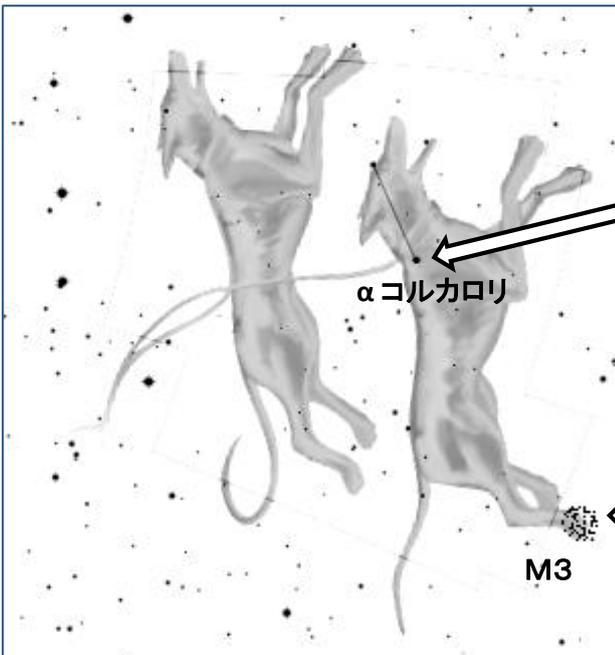
木星

木星は、太陽系最大の惑星で、その直径は地球の約11倍、質量は約300倍以上もあります。
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)を観察できます。



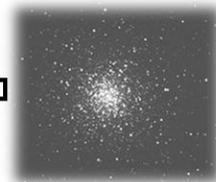
5月23日の木星とガリレオ衛星

りょうけん座



りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、大熊(おおぐま座)を追う男(うしかい座)が連れた2匹の犬として描かれています。
17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。

りょうけん座のα星コルカロリは、天体望遠鏡で拡大すると二つの星に分かれて見えます。
色の対比が美しく、明るい星が黄色に、暗い星が紫色に見えと言われますが、皆さんは何色に見えますか？



M(メシエ)3は、りょうけん座にある代表的な球状星団のひとつです。
空の暗い場所では、双眼鏡でも見つけることができ、天体望遠鏡ではたくさんの星の集まりであることがわかります。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 6月27日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会